佐潟みらい新聞

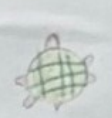
伝説

佐潟のあたりは、かつて日本海とつながっていて、海賊船が沈んだ」という伝説があります。いまでも海賊船のお宝物があると語り継がれています。



歴史

・1997年にはハスが佐潟の半分くらいあったけど2003年には、半分よりもだいぶ少なくなった。
・コロナの時、ミシシッピアカミミガメをかっていた持ち主がコロナの時カメをはなしたと言われている。





ハス

・生育形態：水底の泥に地下けい(レンコン)をはり、そこからけいを水面までのばして葉と花をつけます。
・葉：大きな円形で表面は水をはじく特しゅな構造(は水性)を持ちます。

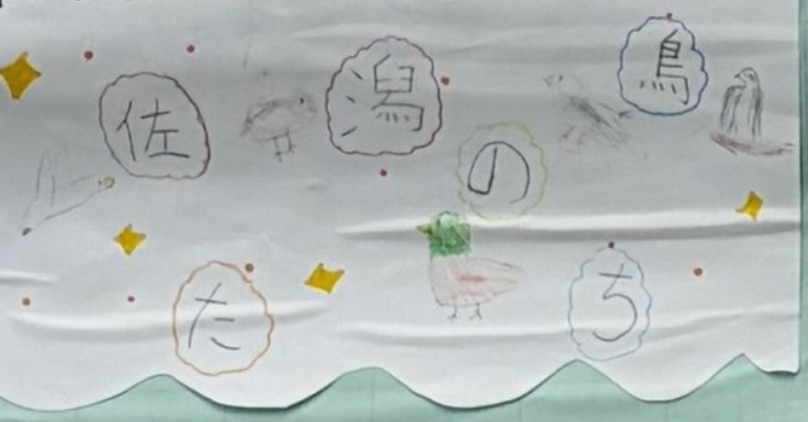




佐潟 潟伝説 人魚塚の伝説

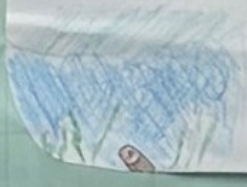
・地域の方からお聞きした伝説とAIによる情報では、佐潟周辺の地域には人魚に関する伝しょうがあります。
・内容；昔、海から潟へ入ってきた人魚のなきがら海岸に打ち上げられそれを手あつくほうむった場所が、「人魚塚」として伝えられているという話です。

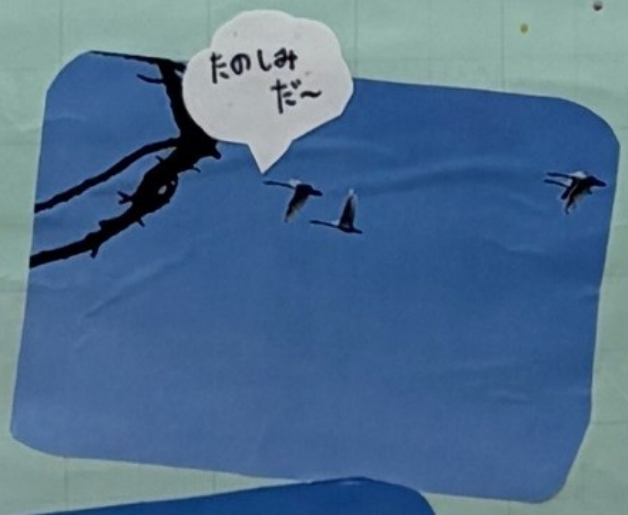
佐潟には色々な鳥がいてカッコウシジュカラ、ミサゴなど白鳥以外にもいろんな鳥がいます。



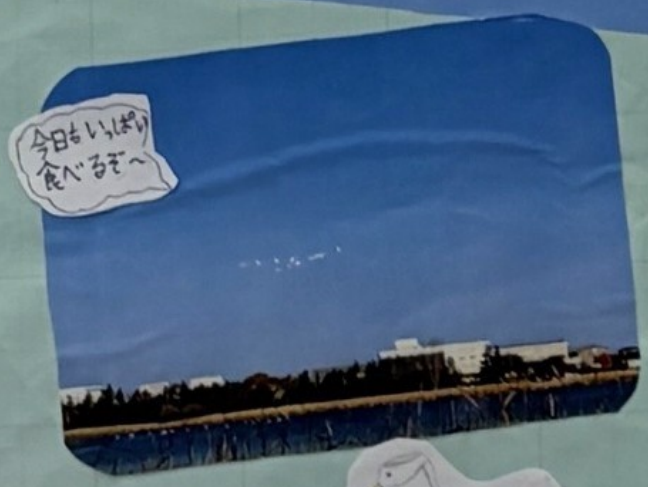
ハスの種

・(種子)非常に硬いがらにおうわれ、発芽させるにはヤスリなどでけづりをカロえる必要があるのが特ちょうです。
・このからのおかげで数100年も発芽せずに生きつづけられる、きょういてきな生命力を持ちます。











参考引用文献
- 赤塚小学校地域ボランティア
- 皆様によるお話
- 潟のデジタル博物館
https://www.niigata-satokata.com
- 教育出版
https://www.kyoiku-shipma.co.jp
- 新潟市
https://www.city.niigata.lg.jp

赤土家小 Dグループ